發行:(一財)國學院大學院友会
https://www.kokugakuin.or.jp
E-mail: inyuukai@kokugakuin.or.jp
〒150-0011
東京都渋谷区東四丁目12番8号
電話　03(3400)7781(代)
FAX　03(3400)7996
郵便振替口座番号:00190-9-11208

國學院大學 院友會報

第130期生の皆さまへ

ご卒業おめでとうございます。
今日から院友会の一員です。

いろいろなお知らせをいたします。是非フォローしてください。

@inyuukai

國學院大學 院友会とは

祝辞

一般財団法人 國學院大學院友会
会長 **吉田 茂穂**
（よしだ・しげほ／73政・74神専攻／鶴岡八幡宮宮司）

―“自分の道”を共に―

第130期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは本日から、國學院大學を母校とする同窓の組織、私どもも一般財団法人國學院大學院友会の一員であり、院友です。皆さんの周囲には私たち大勢の先輩がいるということを、そして一緒に歩んで参りたいと思っていることを、先ず心に留めてください。

私どもは、創立百四十周年を迎えようとしている母校とともに、百三十五年にわたる歩みをともにしてまいりました。母校の前身である皇典講究所が明治十五年に開設され、その初期の卒業生が明治二十年に集い会って、私どもの母体となる「水穂会」が発足されたことが始まりです。

現在は、全ての都道府県に支部があり、その数は五十九支部になります。各支部には様々な部会や地区部会、職域の会があります。また院友経済会、マスコミ院友会、院友学術振興会、法学部ＯＢ・ＯＧ会の四団体が協力団体という位置付けで、志を同じく活動をしております。

全国各地、皆さんの身近に先輩諸氏はおられます。どうぞ輪の中へ加わっていただき、ともに活躍されることを望んでやみません。

今、皆さんはどんなことを思い出しているのでしょうか。この四年間はどんな時間だったのでしょうか。これまでの日常が日常ではなくなってしまってから、今までにはない学生生活を余儀なくされました。大きな不安や孤独感に包み込まれたり、自分の意志では何ともしがたい壁を感じたりしたことと思います。人との距離がわからなくなったこともあったでしょう。

しかし今、卒業する皆さんは、さらに社会へと向かっていかなければなりません。皆さんを迎える実社会もまた同様です。手探り状態の日常の中では、考え、工夫し、挑戦していくしかありません。現実の中で新しい日常を作っていくのは、自分自身です。

人は時として、自分自身が見えなくなります。悩み苦しむことがあります。そんな時には、過去の自分を振り返ってみてください。縁のあった人たちとのことを思い出してください。過去は、未来の自分を支える大きな柱です。國學院大學での時間は、これからの大切な人生を支える礎であることを、忘れないでください。縁とは思い出すこと、そして感謝することです。自分の道は、自分一人だけの道ではありません。

國學院大學の建学の精神である徳性の涵養を標として、どうぞこれからの人生を歩んでください。母校も私どもも、いつも皆さんの身近におります。いつでも皆さんをお迎えいたします。

今日からは院友として、私どもと一緒に母校を、後輩たちを応援してまいりましょう。

祝辞といたします。

令和４年度　コロナ禍での本会の取り組みについて

令和４年度はコロナ禍の３年目。未だ先行きの見えない状況ではありますが、本部・支部の協力で一つずつ前に進めてまいります。諸事業や行事は、安全安心を基軸に、何ができるか、どんな方法でできるか、学生支援も含めて、出来うる限りの対応を進めてまいります。また、定款に基づく本法人の理事・監事の改選を行います。

【育成事業】

「学術・スポーツ振興資金」制度による支援は、「学術部門」は母校所蔵の貴重資料デジタル化に、「スポーツ部門」は硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部、卓球部・ソフトテニス部の５団体を令和３年度に引き続き支援してまいります。皆さまのお力添えを重ねてお願い申し上げます。学生支援は、大学の関係各部署と連携しながら、必要な支援を行います。「院友会長賞」（学生の部）も継続してまいります。

【講座・講演会事業】

『風土記を読む（第５期）』講座、院友学術振興会公開講座『國學院の古典』、生活芸術講座等の諸講座は、秋以降の開催に向けて準備を進めます。また従来とは異なった形式も検討してまいります。

サロンコンサートは、安心してご参加いただける準備の下、開催を目指します。

【特定寄付】

國學院大學への協力として、必要な寄付を行う予定です。

【同窓会事業】

コロナ禍の中、三密を避け安全安心な活動をどのように展開していくか。この２年間のコロナ禍での状況を踏まえて、課題を本部支部ともに共有しながら進めてまいります。

会報発行発送事業及び編集発行は、従来同様年３回の発行を目指します。

院友会報は住所判明者全員に送付いたしますが、状況により新年号は令和３年度同様に会費等の納入者に限定して送付することも選択肢といたします。

本会ホームページ、Twitter等では各支部院友等の活動の紹介、各地の情報、学生の情報等を充実させてまいります。

会員統括組織化事業では、コロナ禍での支部総会のあり方、本部支部の情報交換、学生支援、事務的なこと等も共有していきます。各支部主管の公益事業については、地域の感染状況等踏まえながら、ガイドラインに基づき支部内での交流を主体とし、支部総会も同じく安心安全な開催を目指します。

支部長会議は５月に渋谷キャンパスでの開催に向けて準備をいたしますが、今後のコロナ禍の諸状況を勘案して対応してまいります。

院友大会は秋以降の開催で慎重に検討してまいります。母校ホームカミングデーは、開催状況や方法に対応しながら、広く院友に呼び掛けてまいります。

新年院友交歓会は、学術・スポーツ振興資金支援団体の応援を中心に、準備いたします。

【収益事業】

これまで同様、皆さまに安心してご利用いただけるように取り組んでまいります。

【院友会館の運営】

来館者の安全安心を確保しながら、国、東京都の指針に沿った運営をいたします。

開館時間や利用に際してのお願い等、院友会のホームページでお知らせをしてまいります。

ご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【法人事業】

定款に基づいた諸会議を開催します。業務執行理事を中心に、コロナ禍の状況へ対応してまいります。

また、法人の理事・監事改選を定款に基づき行います。

以上が令和４年度の取り組みの概要ですが、引き続きコロナ禍での運営となります。諸会議等での決議において変更もあるかと思いますが、安全安心を第一に、業務執行理事を中心に検討準備を重ねてまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

――お見舞い――

新型コロナウイルス感染症による様々な影響、また自然災害により被災された皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く、平穏な日常が戻りますことを祈念申し上げます。

一般財団法人　國學院大學院友会

ご卒業おめでとう
ございます

今後のご活躍を期待します

國學院大學若木育成会

会　長　森　　伸　一
副会長　増　田　久美子
同　　藏　重　命　弘

國學院大學　総務部　校友課内
電 話　03−5466−0131

住所変更届・異動届のお願い

本会では母校校友課と協力し、一人でも多くの院友の皆さまに情報発信をしていきたいと考えております。

現在、住所が判明している全ての院友の皆さまに、院友会報をお送りしております。

結婚・転職・転居などにより、氏名・住所・勤務先などに変更がございましたら、本会または母校校友課へお知らせください。メールアドレスの登録もお願いいたします。大学・院友会どちらのホームページからでも変更できます。

また、ご実家であっても、ご本人が居住されていない場合は、郵便局から差し戻されてまいりますので、必ず現住所をご連絡ください。

皆さまのお手元に郵便物が確実に届くように、ご協力の程お願い申し上げます。

もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

理事長　佐　柳　正　三
学　長　針　本　正　行

渋谷キャンパス
〒150-8440　東京都渋谷区東4−10−28
電話　03(5466)0111(代表)

横浜たまプラーザキャンパス
〒225-0003　神奈川県横浜市青葉区新石川3−22−1
電話　045(904)7700(代表)

勤務先・住所等の変更のあった
場合は校友課(03-5466-0131)
まで必ずご連絡ください。

新院友の皆さんを歓迎いたします

一般財団法人　國學院大學院友会

顧　問
新井さきほ　杉山　丈夫　外山　勝志　蛯原　弘
岡崎　正継　安蘇谷正彦　坂口　吉一　佐柳　正三
赤井　益久

参　与
船田　君子　河原崎　弘　宇井　克彦　玉井　浩二

評議員
菅野　雅雄　栗生　守男　稲葉　久雄　廣井　武司
田中安比呂　上村　好生　大塚　勤　岡部　定征
廣井　公明　坂入　益　熊嵜　歳介　田中　恆清
夏井　邦男　中村　直紀　小林　操　近藤　篤
針本　正行　坂倉　良一　橋本憲市郎　百瀬　敏記
赤岩　修　堀江　久教　藤井　秀嗣　城所　俊哉
武智　浩二　北原　徹　宮西　修治　九條　道成
西川　実希

会　長
吉田　茂穂

副会長
今井　亮　佐藤　美穂　石川　則夫

常務理事
坂本眞佐人

理　事
秦　信行　大鳥居信史　吉田　源彦　塙　東男
近藤　正臣　松山　文彦　中山　高嶺　岡田　幹雄
加藤　元茂　黒田　眞子　利根　康教　大平　実
大村　秀司　田辺三千代　秋元　善行　古屋　真弘
大野　靖仁　白川　博一　網谷　道弘　湯谷　昌生
冨田　尚敬

監　事
小林　英夫　角川　賢二　寺澤　悠

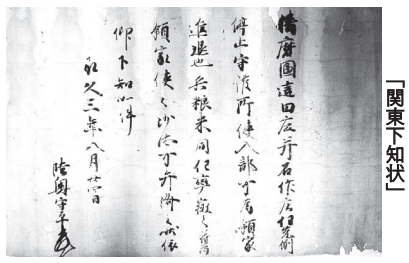
対象団体から…がんばります！

学術・スポーツ振興資金

学術部門

院友の皆さまの「学術・スポーツ振興資金」（学術部門　デジタルライブラリー）への支援につきまして、大変お世話になっております。四月二日から本学博物館で「鎌倉幕府と執権政治」と題した展示会を行います。「久我家文書」中から北条義時等が発給した文書や八条院関係の文書を展示する予定です。また近年収蔵した奈良絵巻「あさいな」も公開します。このような時期ですので、どうなるかわかりませんが、開催されたら、ぜひ足をお運びください。（本会報P.7に詳細記載）

学術メディアセンター事務部図書館事務課・記



「関東下知状」

陸上競技部

第99回箱根駅伝に向けて　～変革～

院友の皆さまには、いつも多大なるご声援及び学術・スポーツ振興資金によるご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。

新春一月二日、三日に行われました第98回東京箱根間往復大学駅伝競走では総合8位（往路4位・復路13位）と大学初の4年連続シード権を獲得することができました。しかし、上位進出を目標に、1年間取り組んできた分、選手・スタッフ共々この結果は悔しい順位となりました。現在は、今年から主将になった中西大翔（健体4年）のもと日々練習に励んでいます。新年度もご支援、ご声援の程、宜しくお願いいたします。

監督　前田　康弘・記

第98回東京箱根間往復大学駅伝競走　総合成績・結果順位

【6年連続15回目】

順位	大学名	総合成績
1	青山学院大学	10:43'42"
2	順天堂大学	10:54'33"
3	駒澤大学	10:54'57"
8	國學院大學	10:57'10"

＊往路結果 / 順位 5:25'49"　4位
＊復路結果 / 順位 5:31'21"　13位

第98回東京箱根間往復大学駅伝競走　個人成績

区間	氏名	学年	タイム	個人順位	総合順位
1	藤木　宏太	神文４年	1:01'26"	6位	6位
2	伊地知 賢造	健体２年	1:07'51"	12位	10位
3	山本　歩夢	健体１年	1:01'59"	5位	4位
4	中西　大翔	健体３年	1:01'50"	4位	3位
5	殿地　琢朗	健体４年	1:12'43"	9位	4位
6	原　秀寿	健体１年	1:00'02"	17位	6位
7	木付　琳	経４年	1:06'33"	20位	10位
8	石川　航平	健体４年	1:05'42"	7位	10位
9	平林　清澄	経営１年	1:08'07"	2位	5位
10	相澤　龍明	中文４年	1:11'08"	16位	8位

陸上競技部　新入生一覧

氏名	出身校
青木　瑠郁	健大高崎（群馬）
植木　来時	國學院久我山（東京）
上原　琉翔	北山（沖縄）
大呂　青葉	八頭（鳥取）
嘉数　純平	北山（沖縄）
鎌田　匠馬	東海大山形（山形）
上村倫太朗	小林（宮崎）
小松　恵達	西武台千葉（千葉）
高山　豪起	高川学園（山口）
田中　登馬	豊川（愛知）
中野　匠	東農大二（群馬）
中薮　太智	自由ヶ丘（福岡）
松村　隆希	埼玉栄（埼玉）
森田　隼也	智辯カレッジ（奈良）
吉浦　悠	松浦（長崎）
陸　太陽	宇部鴻城（山口）
渡辺　峻平	大阪（大阪）

硬式野球部

チームスローガン「日本一の実現 ～Coordinate With The Team～」

リーグ戦三連覇、日本一へ、より現実味を持って準備して参りました。昨年の4年生達が引退する際、「リーグ連覇はしてきたが本来クリアしなければいけない課題で解決していない事がたくさんある。」と3年生の幹部たちに伝えました。そこにチームの伸びしろがあります。監督として学生達には「次の10年」と銘打って今年のチームをスタートさせました。10年でチーム哲学の根を深く伸ばし、更なる歴史を積み上げます。その為に一年一年が勝負です。今年も強い執念を持って戦いに挑みます。

監督　鳥山　康孝（106法）記

硬式野球部　新入生一覧

ポジション	名前	出身高
投　手	床枝　魁斗	修徳（東京）
投　手	榊原遼太郎	掛川西（静岡）
投　手	石河　大空	英明（香川）
投　手	山口　逸貴	興譲館（岡山）
投　手	飯田真渚斗	明秀日立（茨城）
投　手	當山　渚	沖縄尚学（沖縄）
投手・外野手	佐藤　海	弘前聖愛（青森）
投　手	渡辺　嶺	國學院久我山（東京）
捕　手	立花　祥希	横浜（神奈川）
捕　手	調　祐李	大崎（長崎）
捕　手	石崎慶太郎	春日部共栄（埼玉）
二塁手	黒木　日向	明豊（大分）
二塁手	石川　雄大	大阪桐蔭（大阪）
遊撃手	松若　蓮	金沢龍谷（石川）
遊撃手	柳澤　樹	上田西（長野）
遊撃手	中村　碧人	宮崎商（宮崎）
内野手	菅野　陽士	國學院栃木（栃木）
内野手	最上　太陽	國學院栃木（栃木）
内野手	原田　大翔	國學院久我山（東京）
外野手	宮坂　厚希	智辯和歌山（和歌山）
外野手	落合　俊介	八王子（東京）
外野手	中西　流空	県岐阜商（岐阜）
外野手	大塚　弘晴	天理（奈良）
外野手	仲　崚眞	大分舞鶴（大分）
マネージャー	小俣　諒侑	星稜（石川）
マネージャー	板橋　海斗	市立船橋（千葉）

柔道部

オール國學院で

昨年は、院友の皆さまの応援のお陰で学生日本一を2階級出すことができました。皆さまの母校を思う気持ちが学生に伝わり、後押しになったと思っております。改めて感謝申し上げます。

令和四年に入りコロナ禍の影響を受け、思うような稽古ができず模索する日々が続いております。それはどの部会も同じことだと感じます。学生のモチベーションを高めるべく、新たに違った角度から目的意識を持たせ、今年もオール國學院で戦いたいと思っております。

監督　坂本　大記（106文）記

厳しい練習環境の中で

柔道部　新入生一覧

氏名	出身校	階級(kg)
小林　開道	木更津総合（千葉）	90
林　旺佑	木更津総合（千葉）	100
清水　雄護	木更津総合（千葉）	100
高橋　勝馬	延岡学園（宮崎）	100
宮部　真臣	足立学園（東京）	60
猪瀬　真司	埼玉栄（埼玉）	66
岡本　治祈	加藤学園（静岡）	66
大掄　弘晟	神港学園（兵庫）	73
後藤　颯太	市立習志野（千葉）	73
小坂　隼人	関西（岡山）	90
北川　拓実	足立学園（東京）	90

卓球部

新年度の抱負

平素より、院友の皆さまには多大なるご支援とご声援を頂戴しておりますこと、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が未だ続いている状況にありますが、この間、地道に取り組むことで、ずいぶんと進むということを学びました。新年度も「今できることをしっかりやろう」という意志を継続し、来るべき大会に向けて準備を重ねていきます。

引き続き、変わらぬご支援ご声援をたまわりますよう、何卒お願い申し上げます。

監督　人見　剛（102経）記

リーグ戦シングルス5戦全勝の渡辺凱選手（初教1年）

写真提供 ニッタクニュース

卓球部　新入生一覧

狩野　耕助	埼玉栄（埼玉）
佐山　寛大	新潟産業大学附属（新潟）
羽賀　琉晴	埼玉栄（埼玉）
藤井　脩平	都城商（宮崎）
泉田　和抄	遊学館（石川）
加賀美恵奈	武蔵野（東京）
加藤　瑞穂	日本工業大学駒場（東京）
鈴木　若葉	桜の聖母学院（福島）
関谷　咲花	千葉商科大学付属（千葉）

ソフトテニス部

新たなスタートに向けて

院友の皆さまには、日ごろより多大なご声援を頂戴しまして、厚く御礼申し上げます。穏やかな春風がテニスコートを包み込む中、シーズンがスタートしテニスコートには躍動する学生達の姿が戻ってきています。本年の各大会が待ち遠しい今日この頃です。前年までの新型コロナ対策を取りつつ、皆さまの期待に応えられるよう、精神力、技術力をしっかり磨き、「國學院魂」を持って、チーム一丸で向かってまいります。

皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

監督　小杉　誠（86法）記

西本一雅選手（健体2年）の強烈なサービス

ソフトテニス部　新入生一覧

須田　零生	羽黒（山形）	後衛
岩﨑　俊介	高崎商（群馬）	前衛
金井　亮太	高崎商（群馬）	前衛
知名　恒輝	都城商（宮崎）	前衛
濱島　怜奈	広島修道大ひろしま協創（広島）	後衛
寺澤佑珠妃	京都光華（京都）	後衛
髙嶺　心萌	八重山（沖縄）	前衛

おめでとうございます

叙勲当選等のご連絡を頂きました。心よりお祝い申し上げ、今後益々のご活躍をお祈り致します。（令和三年十二月以降からの掲載になっております。）

■当選

☆三豊市長（香川県）（令和4年1月）
山下昭史氏（やました・あきし／98経）

☆神川町長（埼玉県）（令和4年1月）
桜沢　晃氏（さくらざわ・あきら／89経）

☆立山町議（富山県）（令和4年1月）
堀田　努氏（ほりた・つとむ／89経）

☆野洲市議（滋賀県）（令和3年10月）
村田弘行氏（むらた・ひろゆき／96神2）

■宮司就任

☆金刀比羅宮（香川県琴平町）
琴陵泰裕氏（ことおか・やすひろ／111神・113博前神）

☆平安神宮（京都市）
鷲尾隆久氏（わしお・たかひさ／127神専攻）

☆貴船神社（京都市）
高井大輔氏（たかい・だいすけ／113神2）

……

※院友の褒章・叙勲等について本部まで情報をお寄せ下さい。

いつまでもお元気で

この三月末日をもって、次の方々が定年で母校を退職されます。お元気で、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

※（　）は、専任として奉職された年月日。敬称略。

教　員

●斉藤こずゑ・文学部教授（昭和56年4月1日）
●中川徹也・法学部教授（平成15年4月1日）
●土田壽孝・経済学部教授（昭和62年4月1日）
●茂木貞純・神道文化学部教授（平成17年4月1日）
●柴崎和夫・人間開発学部教授（昭和60年4月1日）
●石川清明・人間開発学部教授（平成23年4月1日）
●野本茂夫・人間開発学部教授（平成23年4月1日）
●井口良子・学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課主幹（昭和54年4月1日）
●井口良子・学術メディアセンター事務部図書館事務課（たまプラーザ）書記（昭和51年7月1日）

職　員

●中條　豊・学術メディアセンター事務部研究開発推進機構事務課主幹（昭和54年4月1日）

滝川市
國學院大學
北海道短期大学部
学　長　平野　泰樹
副学長・国文学科長　山寺　三知
副学長・総合教養学科長　太田　信二
幼児・児童教育学科長　田代　雄一
事務局長　吉田　裕一

〒073-0014　北海道滝川市文京町3丁目1−1
TEL　0125-23-4111　FAX　0125-23-5590
URL　https://www.kokugakuin-jc.ac.jp

第130期のみなさんへ
祝・ご卒業

学校法人 國學院大學栃木学園
理事長　川福　基之　事務局長　小藤　清
〒328-8588　栃木市平井町608　電話　0282-22-5511
國學院大學栃木短期大学
学　長　林田　孝和　学　監　川福　基之
國學院大學栃木高等学校
校　長　青木　一男
國學院大學栃木中学校
校　長　青木　一男
國學院大學栃木二杉幼稚園
園　長　栗原　和子

國學院高等学校
校　長　津田　栄
教職員一同
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前2丁目2番3号
電　話　03−3403−2331(代)

國學院大學久我山中学高等学校
校　長　國清　英明
教職員一同
〒168-0082　東京都杉並区久我山1丁目9番1号
電　話　03-3334-1151(代)

会費等納入者芳名

ありがとうございました

令和三年十月一日～令和四年一月三十一日納入分まで。
名前上の数字は卒業期。
「推」は理事会承認の会員。
(敬称略)

皆さまからお納めいただいた会費・寄付金は同窓会事業や公益事業等に使用いたします。
皆さまのご協力をお願いいたします。

〈年度会費〉

岩手県支部経由
六千円 76 館 満弘
三千円 推 田村 昌義　61 高橋 弘平　66 及川 恵美子　67 高橋 里男　68 佐藤 怡當　69 三浦 律子　70 斎藤 久志　70 高橋 龍夫　70 村上 康昭　73 佐藤 紘一郎　73 瀬尾 正秋　73 関 俊子　73 千葉 悟郎　74 佐藤 修蔵　74 鈴木 惠治　75 榊 廣　75 中沢 義昭　76 内田 正好　76 鈴木 千佳子　77 大原 皓二　77 佐藤 春元　78 鱒沢 克美　79 菅野 初　80 中野 敬視　80 藤井 みゆき　81 伊藤 勝　81 大鹿糠 文行　82 千田 邦子　82 藤原 正義　84 熊谷 常正　85 菊池 晃
85 実川 敦子　86 戸田 昇　86 藤田 典子　87 小野寺 規久雄　87 千葉 進　88 稲田 典之　88 清水 貞美　89 杣 直晃　89 松原 洋子　90 小島 正明　90 新里 明彦　94 斉藤 敬　96 後藤 康　96 関根 正道　97 松本 博明　100 嶋 隆　100 菅原 光聰　102 亀井 琢人　104 平賀 裕貴　105 高橋 伸二　110 弥生 Williams　111 日下部 慶　122 阿部 敏宗

茨城県支部経由
三千円 64 植木 正明　67 二平 武　69 海野 修　69 遠藤 昌夫　70 浅田 順　70 松本 秀勝　72 鈴木 健二　76 中根 重喜　81 鶴田 隆
81 橋本 良正　84 沼尻 悦子　84 萩原 正比古　84 松本 知隆　91 杉田 美智子　100 木村 敦子　100 薗部 明子　108 森平 ゆう子　129 勝田 啓史

埼玉県北支部経由
三千円 69 井上 隆雄　71 井上 善子　73 菅谷 浩之　88 根岸 洋之　90 根岸 和美　92 宮崎 博之

新潟県支部経由
三千円 65 甘粕 静枝　73 岩野 笙子　73 湯浅 輝子　83 志田 喜廣　83 横山 千雪　89 栗田 宗明　107 青山 洋一

静岡県東部支部経由
四千円 69 佐藤 作太郎
三千円 65 清水 和美　65 水口 巧　68 井上 眞三郎　68 桑原 正章　68 近藤 正基　71 山平 公一　72 岡部 敬武　72 勝又 長見　74 土屋 平　74 中島 孝之　74 米倉 和子　76 小嶋 隆雄　76 田村 加代子　77 桜井 豊彦　77 森脇 泰子　78 大島 文弘　78 大宮 弥宗司　78 明城 正子　79 藤井 良一　79 牧野 節和　79 森田 律子　81 福木 洋一　82 大川 公　82 大貫 克己　83 大庭 敏彦　83 渡邉 博明　84 内海 守　84 川口 孝博　84 田村 廣光　84 松田 繁幸
84 山本 良一　85 秋津 温　85 岡田 修　85 勝又 荘吾　85 眞田 治隆　85 原 嘉孝　85 宮本 邦彦　87 阿部 克彦　87 土佐谷 惇　87 土佐谷 秀子　87 野村 芳照　88 遠藤 秀和　89 石井 昌明　90 植松 英生　92 植松 秀充　93 小林 佳伸　94 石田 金也　94 土佐谷 諭　95 奥村 徹也　95 前田 恵美　96 佐藤 哲洋　96 杉山 千文　98 木部 千春　98 鈴木 卓也　98 沈 久美　99 伊藤 政嗣　100 畑中 稔也　101 眞野 和人　102 矢田部 盛男　103 赤松 泰子　103 望月 千江　104 野畑 英彦　105 上岡谷 一朗　107 渡邉 龍一　109 白岩 正次　111 戸塚 義浩　111 松浦 優子　113 土佐谷 允　114 下野 瑞穂　114 鈴木 成年　115 岩田 繁　116 櫻井 紀彦　116 高木 大介　116 原 崇洋　117 池田 幸司　119 武宮 和宏　119 細江 貴裕　120 井出 貴文　121 山下 弘道　122 櫻井 洸彦　123 山縣 直胤　124 五明 健浩　127 高松 慎至　127 野村 承偉　127 平林 大和　127 升山 顕耀　128 関野 愛依　128 野口 敏隆　128 山城 翔大　129 河野 忠由　129 菱沼 拓己

静岡県中部支部経由
三千円 63 高槻 徹次　68 樫下 亘　71 内山 信春　71 内海 泰彦　72 濱岡 弘一　75 榊原 賢司　75 満間 征夫　76 青島 勝昭　76 落合 偉洲　78 瀧本 正道　79 多田 計　79 松下 正之　80 天野 忍　80 水嶋 八束　83 桜井 仁　84 有馬 松司　84 藤本 雅通　85 繁原 幸子　86 永田 昌志　87 青嶋 甲子雄　88 河原崎 全　88 苦竹 泰秀　88 姫岡 恭彦　89 仁科 泰彦　90 芦原 久雄　90 鈴木 道子　90 滝浪 泰　92 村瀬 隆彦　93 八木 良弘　94 伊藤 裕司　94 鈴木 啓央　95 寺尾 祐一　97 中川 律子　98 鈴木 文彦　98 高橋 一之　99 小杉 明史　103 大沢 哲也　103 保坂 仁司　105 落合 瑞生　108 藤本 大　109 齋藤 曜　109 長橋 正樹　116 大石 沙織　116 松下 国正　117 宮城島 由貴　118 海野 貴嗣　119 藤野 高宏　120 森 千早都　121 伊藤 貴彦　121 荻野 晃輔　122 苦竹 紗代　127 苦竹 まどか　128 丸尾 良樹

◆本部直納分◆
六千円 100 遠藤 隆
三千円 57 亀井 恵美子
66 清雲 俊元　66 小島 瓔禮　66 宮田 義丸　67 新見 隆司　67 伊藤 善啓　67 河崎 恭典　67 坂井 定栄　68 加賀谷 俊雄　68 佐藤 千廣　68 橋本 和彦　69 青木 義興　69 多久 鉄也　70 小野寺 恒夫　70 椙 真　70 小林 あけみ　71 篠塚 孝之　71 廣井 武司　72 跡部 忠久　72 見村 文彬　73 阿保 清忠　73 植田 邦靖　73 小口 佳祐　73 武内 紀之　73 田中 英行　73 平岩 久敏　74 上村 好生　74 小野沢 忠男　74 吉楽 勝太郎　74 坂口 吉一　74 辻畑 弘　74 盛田 尚克　75 相田 浩子　75 上田 京子　75 塚本 尚史　75 長尾 和彦　75 仲野 明子　75 林 延雄　75 矢野 俊章　76 片方 瑞夫　76 権田 正明　77 石山 克之　77 西 義勝　78 太田 康子　78 田中 和子　78 外山 範茂　79 岡野 哲郎　79 町山 徹　80 峰尾 義信　80 幸田 博人　81 澤口 達也　81 武田 一成　81 西塚 克明　82 高崎 恒晴　82 吉田 慎一　83 島野 博行　83 野上 尊博　84 佐伯 栄和　86 早川 政弘　87 石橋 裕　87 篠原 則男　87 横山 博之　88 鈴木 康之
89 新井 彰　89 石井 あゆみ　89 佐藤 久雄　89 平川 信一　90 田所 和子　90 和田 聖明　91 伊藤 達欧　91 鎌野 千晴　92 荒井 秀敏　92 豊島 真　93 廣田 篤樹　94 川津 浩一　95 藤野 久信　95 眞鍋 豊孝　96 川津 千子　97 篠山 裕之　97 山田 敏行　98 宇貫 文昭　98 鈴木 文彦
100 荒川 和昭　100 内田 めぐみ　100 根岸 毅宏　102 仲屋 淳　103 綾香 寛行　103 吉成 真理　104 高坂 あゆみ　104 廣鰭 伸行　104 藤岡 憲治　107 麻場 啓一郎　107 松村 文彦　108 鎌田 耕作　109 中村 令子　110 鴨下 明子　111 高橋 健一　112 近藤 行成　113 高野 龍靖　114 浅野 立也

〈十年会費〉

茨城県支部経由
二万円 77 中嶋 央子　89 鈴木 健一　95 石川 功　102 冨田 勝治　110 倉田 嘉英　116 赤須 通昭

◆本部直納分◆
二万円 75 杉野 幸徳　76 橋本 英雄　77 望月 総子　79 沢藤 悦子　80 間中 宣夫　81 新倉 恵子　82 永井 聖子　82 匿名
82 山本 美子　84 阿部 正　85 淺賀 良一　86 斎藤 秀良　87 幸野 珍廣　89 臼井 栄美子　89 内田 裕章　90 高田 政彦　93 萩原 郁子　94 佐藤 涼子　94 柳川 誠二　97 米来 廣晃　99 大牟田 兼一　101 木野 富士男　101 渡辺 康博　108 横山 善之　109 中根 重義　109 三浦 智　113 朴 哲浩

〈維持寄付金〉

十万円 神宮院友会
三万円 87 幸野 珍廣
二万円 67 林 和生　74 坂口 吉一
一万円 67 河崎 恭典　67 高橋 里男　69 梶田 計嘉　70 小山 東夫　71 廣井 武司　72 杉本 光祥　73 阿保 清忠　73 浜田 玲子　74 荒木 真幸　75 仲野 明子　76 新田 弘子　78 大島 文弘　78 鱒沢 克美　79 岡野 哲郎　79 佐々木 章　80 山本 佳代子　81 新倉 恵子　82 荒木田 泰宗　82 小林 博行　83 横山 隆　90 金剛丸 静子
91 東海林 孝一　93 福室 義昭　96 大西 直明　98 伊東 久　99 大牟田 兼一　100 鬼生田 顕英　101 木野 富士男　103 齋藤 吉睦　112 近藤 行成　114 浅野 立也　118 小山 文恵　120 青木 澄人　120 横山 喜好
五千円 推 田村 昌義　83 馬場 美代子　84 熊谷 常正　96 関根 正道　102 森田 玲泉
三千円 73 中田 文子　107 猪俣 健一
千六百十円 83 匿名
千円 84 萩原 正比古　98 豊嶋 史之
五百円 77 佐藤 春元

〈学術・スポーツ振興資金〉

十万円 70 木村 知躬
五万円 112 勝又 啓
三万円 75 杉野 幸徳　126 戸川 もも
二万五千円 98 前谷 澄人
二万円 徳島県支部　67 飯田 三郎　67 横山 健一　71 米山 安一　75 巫部 倭文彦　80 小俣 能範
82 小林 博行　83 小野 祝平　90 深野 明宏　95 倉持 富士勇
一万五千円 104 和智 恵一
一万円 58 三界 あゆち　60 中田 匡直　66 松田 隆之　67 浅賀 敏男　67 今井 亮　68 匿名　70 小山 東夫　70 友枝 昭世　71 匿名
71 廣井 武司　73 佐々木 美南子　73 澤登 洋文　73 末岡 熙章　73 松宮 兼房　74 小板 政男　74 松元 邦夫　75 高松 克征　75 仲野 明子　76 一柳 勇　76 長谷川 劉二　77 梅山 紘子　78 村野 薫　78 山西 啓司　79 佐々木 章　79 間山 良子　80 幸田 博人　81 酒巻 忠重　81 谷崎 正史　81 寺田 章　82 安藤 秀人　84 伊藤 正夫　84 森 敏明　85 池畑 眞弓　85 西澤 章　85 平野 佐太郎　86 斎藤 秀良　87 丹治 正博　88 川島 昭光　89 川成 豊美　89 小泉 広幸　90 井上 容枝　90 菊池 健治　90 金剛丸 静子　92 塚原 裕子　92 西川 充彦　93 小室 茂雄　93 南部 洋一　93 萩原 郁子　93 早川 正義　94 川津 浩一　96 大西 直明　97 石井 啓隆　98 高橋 礼子　99 中島 昌秋　103 蒲田 直樹　112 中村 博行　113 瀬戸川 睦人　119 松原 元　121 長谷川 拓也　125 井上 伸大　125 宮澤 有佳　127 稲葉 正之
八千円 73 岡本 紘
七千円 80 峰尾 義信　112 近藤 行成
五千円 53 雲丹亀 五郎　66 中澤 弘　67 河崎 恭典　68 白井 賢一　68 堀内 栄一　69 石井 紀之　69 南里 昌宏　70 児玉 彬　72 市川 敏則　72 鳥海 哲郎　72 見村 文彬　73 田中 英行　73 細川 孝　74 安達 郁郎　74 佐藤 寿雄　74 千家 活彦　74 柳田 直継　74 横田地 克成　75 有賀 幸男　75 匿名　76 白神 美佐子　77 西野 茂　78 大島 文弘　78 高橋 幸夫　78 四柳 一麿　79 安部 孝次郎　79 石垣 正彰
79 上甲 一則　79 町山 一徹　79 松尾 茂行　79 渡辺 秀雄　80 沖田 みな子　80 工藤 敏夫　80 神保 和憲　80 橋本 幸典　81 鈴木 惠子　81 橋本 良正　81 村瀬 昇一　82 岩田 政明　82 匿名　83 沢畑 明比古　83 馬場 美代子　83 米原 尊仁　84 水谷 正　86 三橋 康男　87 今井 勉　87 吉田 悦子　88 鈴木 明子　88 田辺 泰典　88 中川 久男　88 堀口 武夫　88 向井 豊　89 加藤 行男　89 藤田 一隆　91 小林 薫　91 野田 和之　93 藤田 美宣　94 德田 達治　96 川津 千子　98 伊東 久　98 葛原 秀史　100 鬼生田 顕英　100 田中 光吉　100 三谷 暢也　103 齋藤 吉睦　104 島田 幸治　104 藤岡 憲治　106 阪本 美雄　107 田村 博　109 丹治 有智　113 林 祐二　113 横山 麗　115 坂上 眞弥　119 板井 寛幸　120 阿部 尚子　120 斎藤 裕敦　120 西尾 尚己　120 横山 喜好　121 及川 貴大　122 和田 尭之　123 中西 涼　124 青木 貴美江　124 須田 光一　125 秋山 裕美　125 佐藤 有紀　128 星加 紗奈
三千円 推 大友 律子　57 亀井 恵美子　65 大塚 順義　67 匿名　69 鈴木 寿子　72 市川 紘　72 塩田 豊一　72 矢沢 光子　73 中村 公子　73 平岩 久敏　75 斎藤 邦彦　79 中川 健一　82 三宅 強　83 岡田 明三　96 濱田 哲也　97 嶋津 宣史　107 猪俣 健一　108 宮田 京　112 浦部 千尋
二千円 60 日笠山 正治　74 久本 剛　76 片方 瑞夫　92 武藤 充孝　100 内田 めぐみ　110 鴨下 明子

〈基本財産寄付金〉

二万円 90 中里 陽一
一万円 81 坂本 眞佐人

「会費について」

本会の会費制度についてご説明いたします。（ホームページ【URL https://www.kokugakuin.or.jp】の『会費・寄付金のお願い』の欄でも説明しています。併せてご覧ください）

本会の会費は『年度会費』と『十年会費』の２種類です。

①年度会費…年度ごとに会費3,000円を納入
②十年会費…年度会費の10年分を一括で納入、金額は20,000円です

本会の財政安定化を図るため、平成８年の理事会において寄付行為を変更し、従来の「終身会費」制を廃止しました。院友会員数の増加及び社会情勢を踏まえてのことです。

何とぞご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

既に「終身会費」として納入された方には、納入から10年を経過した時より、会報送付時に依頼状（会費納入ご協力のお願い）を同封させていただいております。

99期以降に学部をご卒業の方には、卒業時に代理徴収（終身会費または十年会費）させていただいております。

令和４年度分の会費については、今から10年前の120期にご卒業をされた方、またはそれ以前のご卒業の方で会費未納の方には、『ご協力をお願いいたします』（白色）が同封されます。同封の依頼状が『維持寄付金、学術・スポーツ振興資金をお願いいたします』（水色）から『ご協力をお願いいたします』に変わった時が、『十年会費』の有効期限の終了時となります。

上記の会費の他に、寄付金制度がございます。『維持寄付金』と『学術・スポーツ振興資金』の2種類です。こちらのほうにもご協力をお願いいたします。

会費の依頼状・振込用紙は、院友会報に同封いたします。是非みなさま方のご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

皆さまからお納めいただく『会費』・『寄付金』により、本会は事業を行っております。ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

■ 会費等入金累計表 ■

	R3・4/1～9/30		R3・10/1～R4・1/31		合計	
	金額(円)	口数(件)	金額(円)	口数(件)	金額(円)	口数(件)
年度会費	3,327,000	1,111	1,003,000	335	4,330,000	1,446
十年会費	2,880,000	144	660,000	33	3,540,000	177
維持寄付金	3,051,580	292	544,660	49	3,596,240	341
学術・スポーツ振興資金	2,458,000	307	1,591,000	192	4,049,000	499
基本財産寄付金	3,000	1	30,000	2	33,000	3

訃報

高徳雄三氏（こうとく・ゆうぞう）＝元本会評議員／66文）令和三年七月十五日逝去。喪主は真之様（ご子息）。

羽後正高氏（はのち・まさたか）＝元本会法学部ＯＢＯＧ会会長・元本会評議員／78法）令和三年十月三十一日逝去。喪主は菅野美菜様（ご息女）。

遠北明彦氏（あちきた・はるひこ）＝元本会評議員／54専）令和三年十一月六日逝去。喪主は光彦様（ご子息）。

森本鴻基氏（もりもと・こうき）＝元大学職員／73文）一月十日逝去。喪主は幸宏様（ご子息）。

◆謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご生前の本会へのご尽力に感謝申し上げます。

國學院と院友の絆をつなぐ
オフィシャルクレジットカード
「國學院カード」

ご利用金額の一部が学生・生徒等の活動支援に活用されます。
また、國學院カードに加入すると独自の優待サービスを受けられます。
※詳しいサービス内容は大学HPをご覧ください。

國學院カードのお申し込み方法
下記のHPよりWEB上でお申し込みください。
紙面での申し込みを希望される方は経理課にお問い合わせください。

協力店の募集について
國學院大學では、國學院カード利用者への優待サービスをご提供いただける協力店を募集しております。ご協力をいただける企業・店舗については大学HPやチラシ、学内イベント等で学生や院友にご紹介させていただきます。　※詳しくは経理課へお問い合わせください。

資料請求・お問い合わせ先
國學院大學 経理課(担当:神山・岡村)TEL:03-5466-0115
Email:keiri@kokugakuin.ac.jp
WEB:國學院大學ＨＰ＞卒業生＞卒業生向けサービス＞國學院カード
「國學院カード」HP QRコード

亀戸升本のお弁当
ご予約承ります

保存料・合成着色料を一切使わず、玉子焼きやかまぼこに至るまで割烹職人手づくりのお弁当です。

ご注文・お問合せ　03-5609-1898

無料配送エリア

ご購入	
3,000円以上	江東・墨田・中央・台東・葛飾・江戸川区
5,000円以上	新宿・文京・品川・目黒・渋谷・中野・豊島 北・荒川・足立・千代田・港区、市川市・浦安市
8,000円以上	大田・世田谷・杉並・練馬・板橋区

TEL 03-5609-1898 / FAX 03-5609-1897

■取締役　副社長　坂本　美雄　（84期）

國學院大學や各部会宛等のご寄付のお取り扱いについて

『國學院大學』や部会宛への寄付につきましては、会報や本会ホームページで既報のとおり直接『國學院大學』または各部会へ寄付をしていただくことになります。万が一ご入金がありました場合は、ご本人様へご返金させていただき、改めてご本人様から『國學院大學』へご寄付いただくことになります。

ご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

※なお『國學院大學』への寄付は國學院大學ホームページのトップページ寄付をご覧ください。

鶴岡八幡宮
宮司　吉田茂穂
〒248-8588　鎌倉市雪ノ下2の1の31
電話　0467-22-0315
ホームページアドレス:www.hachimangu.or.jp
E-Mail:mail@hachimangu.or.jp

相模國一之宮
寒川神社
宮司　利根康教
神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電話　0467-75-0004(代)
http://www.samukawajinjya.jp

明治神宮
名誉宮司　外山 勝志
名誉宮司　中島 精太郎
宮司　九條 道成
権宮司　網谷 道弘
権宮司　江馬 潤一郎
〒151-8557　東京都渋谷区代々木神園町1-1
電話　03-3379-5511

神　宮　司　庁

神宮大宮司　小松揮世久
神宮少宮司　亀田幸弘

〒516-0023　伊勢市宇治館町1
電　話　0596−24−1111
ＦＡＸ　0596−27−0520

出雲大社

出雲國造
出雲大社宮司　千家尊祐

〒699-0701　島根県出雲市大社町杵築東195
電 話 0853-53-3100
FAX 0853-53-2515

美しい日本の結婚式

明治記念館
Meiji Kinenkan

〒107-8507 東京都港区元赤坂2-2-23
TEL. 03-3403-1171(大代表)

伏見稲荷大社

名誉宮司　中村　陽
宮　司　舟橋雅美

〒612-0882　京都市伏見区深草藪ノ内町68
電話　075−641−7331
http://inari.jp

上　川　神　社

宮　司　柴田直儀

〒078-8327　旭川市神楽岡公園2−1
電　話　0166−65−3151

院友神職会

会　長　松山文彦
副会長　千家尊祐
副会長　吉田茂穂

事務局　〒151-8557
東京都渋谷区代々木神園町1−1
明治神宮社務所内
電　話　03-3379-5511(代)
ＦＡＸ　03-3379-5519

神道大教

〒106-0031　東京都港区西麻布4−9−2
電　話　03−3407−0524
ＦＡＸ　03−3407−5655

北海道神宮

名誉宮司　吉田源彦
宮　司　間島誉史秀

〒064-8505　札幌市中央区宮ヶ丘474
電　話　011−611−0261

第130期のみなさんへ
✤ 祝・ご卒業 ✤

樽前山神社

宮　司　永井承邦

〒053-0035　苫小牧市高丘6番地49
電　話　0144−36−6661
ＦＡＸ　0144−36−6652

秋田県神社庁

庁　長　面山浩康
副庁長　平賀　真
副庁長　二階堂　衛

〒010-1427　秋田市仁井田新田2丁目15番26号
電　話　018−892−7932
ＦＡＸ　018−892−7793

志波彦神社 鹽竈神社

宮　司　鍵　三夫
権宮司　野口次郎

〒985-8510　塩竈市一森山1番1号
電　話　022−367−1611
URL http://www.shiogamajinja.jp/

宮城県神社庁

庁　長　鍵　三夫

〒980-0014　仙台市青葉区本町1−9−8
電　話　022−222−6663

宇都宮二荒山神社

宮　司　阿部　憼

〒320-0026　栃木県宇都宮市馬場通り1−1−1
電　話　028−622−5271

常磐神社

宮　司　寺内義與

〒310-0033　水戸市常磐町1−3−1
電　話　029−221−0748

月山神社 出羽神社 湯殿山神社

宮　司　宮野直生
権宮司　阿部良一

〒997-0292　山形県鶴岡市羽黒町手向7
電　話　0235−62−2355

日光二荒山神社

名誉宮司　吉田健彦
宮　司　中麿輝美

本　社　〒321-1431　栃木県日光市山内2307
電　話　0288−54−0535
中宮祠　〒321-1661　栃木県日光市中宮祠2484
電　話　0288−55−0017
URL：http://nikko.futarasan.jp

日光東照宮

宮　司　稲葉久雄

〒321-1431　日光市山内2301
電　話　0288−54−0560
https://toshogu.jp/

笠間稲荷神社 笠間稲荷美術館

宮　司　塙　東男
権宮司　塙　敬比古
館　長　塙　東男

〒309-1611　笠間市笠間1
電話　0296-73-0001(代) FAX 0296-73-0002

東京都神社庁

〒107-0051　東京都港区元赤坂2−2−3
電　話　03−3404−6525(代)

香取神宮

名誉宮司　髙橋昭二
宮　司　香取　武

〒287-0017　千葉県香取市香取1697
電　話　0478-57-3211（代）

鹿島神宮

名誉宮司　上野貞文
宮　司　鹿島則良
権宮司　東　俊二郎

〒314-0031　茨城県鹿嶋市宮中2306−1
電　話　0299−82−1209(代)
ＦＡＸ　0299−82−1625

白山本宮・加賀一ノ宮
白山比咩神社

宮　司　村山和臣

〒920-2114　石川県白山市三宮町
電　話　076−272−0680
ＦＡＸ　076−273−0933

日枝神社

宮　司　宮西修治

〒100-0014　東京都千代田区永田町2−10−5
電　話　03−3581−2471(代)

神田神社

名誉宮司　大鳥居信史
宮　司　清水祥彦

〒101-0021　千代田区外神田2−16−2
電　話　03−3254−0753
ＦＡＸ　03−3255−8875

久能山東照宮
宮司 落合偉洲
〒422-8011　静岡市駿河区根古屋390
電　話　054−237−2438
ＦＡＸ　054−237−9456

山梨県神社庁
庁長 根津泰昇
〒400-0013　甲府市岩窪町572
電　話　055−288−0003

氣比神宮
名誉宮司 桑原恒明
宮司 桑原宏明
〒914-0075　福井県敦賀市曙町11−68
電　話　0770−22−0794
ＦＡＸ　0770−22−0786

石清水八幡宮
宮司 田中恆清
権宮司 田中朋清
〒614-8558　京都府八幡市八幡高坊30番地
電　話　075−981−3001(代)

三重県神社庁
〒514-0005　津市鳥居町210−2
電　話　059−226−8042
ＦＡＸ　059−223−0892

三嶋大社
〒411-0035　三島市大宮町2−1−5

正遷座百三十年
熊野本宮大社
宮司 九鬼家隆

ようこそ、日本のはじまりへ。
橿原神宮
〒634-8550　橿原市久米町934
電　話　0744−22−3271

大阪天満宮
名誉宮司 寺井種伯
宮司 寺井種治
〒530-0041　大阪市北区天神橋2丁目1−8
電　話　06−6353−0025

遠石八幡宮
宮司 黒神直大
〒745-0816　周南市遠石2丁目3の1

嚴島神社
宮司 野坂元明
〒739-0588　広島県廿日市市宮島町
電　話　0829−44−2020

島根県神社庁
庁長 角河和幸
副庁長 忌部正孝
副庁長 篠田範雅
島根県出雲市大社町

鎮西大社　諏訪神社
宮司 池田剛康
〒850−0006　長崎市上西山町18番15号
電　話　095−824−0445
ＦＡＸ　095−821−9377

筥崎宮
名誉宮司 田村靖邦
宮司 田村邦明
〒812-8655　福岡市東区箱崎1−22−1
電　話　092−641−7431

福岡県神社庁
庁長 西高辻信良
〒812-0055　福岡市東区東浜1丁目5−88
電　話　092−641−3505

霧島神宮
名誉宮司 髙橋弘平
宮司 慶光院利致
〒899-4201　鹿児島県霧島市霧島田口2608−5
電　話　0995−57−0001
ＦＡＸ　0995−57−1990

宮崎県神社庁
庁長 本部雅裕
〒880-0053　宮崎市神宮2丁目4番2号
電　話　0985−25−1775

熊本県神社庁
庁長 宮﨑國忠
〒860-0005　熊本市中央区宮内3−1
電　話　096−322−7474

院友会報 広告募集
広告を募集しています
詳細は事務局までお問い合わせください

國學院大學合氣道部 OB会
会長　中川健一
顧問・部長　渡邉卓
副会長　広瀬健一
幹事長　中坪佑介
副幹事長・監督　大田駿介
URL:http://kokudaiaiki.com
令和４年４月より新体制

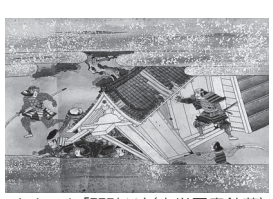
國學院大學
院友経済会
会長 大塚勤
〒150-0011　渋谷区東四丁目12番8号
國學院大學院友経済会事務局
【連絡先】鈴木(03-5466-0745 大学人事課内)
URL：https://kgu.tokyo/

國學院大學博物館だより
毎号博物館の企画展を紹介していきます。

オンラインミュージアム　OPEN　博物館の展示をお家からも！
國學院大學博物館の展示をネット上で観覧できるオンラインミュージアムを開設しました。ご自宅に居ながら、常設展はもちろん、企画展も展示内容を解説付きでお楽しみいただけます。各企画展でミュージアムトークも配信中です！
◎博物館ホームページ又は右記のQRコードから⇨
YouTube

春の特別列品　鎌倉幕府と執権政治　―重要文化財　久我家文書公開―
源頼朝や北条義時、鎌倉幕府の実像に迫る！
本展では、反平家勢力の庇護者であった鳥羽天皇皇女八条院周辺の文書史料、久我家文書の源頼朝・北条義時・北条泰時発給文書、鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』に題材を取った奈良絵本『あさいな』など、初公開を含む本学図書館所蔵資料から、頼朝や義時の時代をみていきます。

会　　期：令和４年４月２日（土）～５月14日（土）
会　　場：國學院大學博物館　企画展示室
開 館 日：毎週水・木・金・土
開館時間：12:00～17:00(最終入館は30分前)
お問い合わせ：03-5466-0359
※現在、新型コロナウイルス感染症予防対策のため短縮開館中
その他　図録やミュージアムグッズは配送販売もしています！


あさいな「門破り」(本学図書館蔵)

コンビニでの証明書発行等について
國學院大學では、在学生や院友の便宜を図るため各種証明書を一部のコンビニエンスストア（国内のセブン―イレブン・ファミリーマート・ローソンのマルチコピー機設置店舗）で発行できるサービスを行っております。スマートフォンなどの端末から証明書の発行申請、決済ができ、キャンパス外から時間の制限なく、いつでも発行が可能となります。
全国の院友の皆さまには、地元で速やかに証明書発行を受けることができます。ぜひご利用ください。証明書の発行に関することは、國學院大學HPをご確認ください。(卒業年度により、一部制約があります)

お問合せ先
國學院大學証明書発行ページ
https://www.kokugakuin.ac.jp/student/materials
をご覧ください。

院友経済会ビジネス塾企画
3ヶ月連続講演会企画を開催!!
院友経済会ビジネス塾ではコロナ禍で対面での企画開催が難しい中、オンラインを通じて院友同士や現役生が参加可能な企画の開催を予定しております。
夏頃に３ヶ月連続講演会を開催予定です。その１つとして飲食業界で活躍中の松田真治さん(118経営)をお招きし「飲食×〇〇」でご講演いただき、参加者とのディスカッションを予定しております。詳細につきましては随時ＨＰにてお知らせいたします。

⬆院友経済会ビジネス塾HPはこちら

報告

もっと日本を学ぼう

―長野県で公益事業を開催―

「疫病鎮静の祈り」雅楽講演会

長野県支部（佐々木章支部長）では12月18日（土）に「一般公開講演会～もっと日本を学ぼう～」を長野市のホクト文化ホール（長野県県民文化会館）において開催した。

昨年長野県支部では一般公開講演会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延から開催を断念せざるを得ない事態となっていた。本年はコロナ禍で停滞している地域交流と文化活動の活性化のために、テーマを『疫病鎮静の祈り』に掲げ公益事業として企画した。現況の感染症予防のために来場者を定員の半数とし、講演時間を1時間に短縮した。また、講師は地元の長野市で雅楽と舞姫の活動をしている長野雅楽会に依頼した。

開催日の会場には150名が来場し、長野雅楽会により『悠久舞』『迦陵頻』『納曽利』『陵王』の4曲の舞が披露された。来場者からは日常では目にすることがない舞いと雅楽器の演奏に高い関心が寄せられ熱心に鑑賞していた。また我が国の伝統文化と芸術を伝えることの大切さに深く共感していた。このように國學院大學らしい一般公開講演会が開催できたことを院友の皆さまと母校に感謝申し上げたい。

最後に本校入学予定の長野雅楽会の舞姫が参加者院友に紹介されたことを報告し、更なる院友会活動の隆昌と本学の発展を祈念申し上げる次第である。

事務局　齋藤英之（95神・97博前神）記

長野雅楽会による「納曽利」

令和四年度

支部長会議開催に向けて

～五月二十八日（土）渋谷キャンパスで開催を予定～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和二年度・三年度と二年連続で一堂に会しての開催を自粛し、書面による開催となった。令和四年度は、三年振りの対面開催に向けて準備を進めている。

従来は、各支部から支部長と事務局担当者の二名を、各協力団体からも代表と事務局担当者の同じく二名を招いて、大学の様子や支部活動の取り組み等について報告や協議を行ってきたが、令和四年度は各支部と各協力団体から代表一名を招いて、三密を回避する形で開催する予定。

本会の支部長会議は、定款の中でもその設置が謳われており、國學院大學の益々の発展のための運営に必要不可欠な情報収集の機会でもある。これらも踏まえ理事会でも開催を決議。今後、事務局で準備を進める。

各支部への案内は、四月上旬を予定している。なお、これまで会議終了後に開催していた「院友大会」は別掲のとおり秋以降に開催の予定。又「一般公開講演会」は別の機会の開催を目指している。

【開催日時】令和四年五月二十八日（土）午後二時～

【会場】國學院大學渋谷キャンパス学術メディアセンター一階常磐松ホール

お断り

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、この開催については変更の可能性もあります。

令和四年度　一般公開講演会について

毎年、院友大会に先立って開催していた一般公開講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、開催について現在も業務執行理事を中心に慎重に検討を重ねております。今後の感染状況を注視しながら、ご参加くださる皆さまの安心と安全を最優先に考えて対応してまいります。今後の動向につきましては、院友会報・本会のホームページ上でお知らせいたします。

プレゼントコーナー《硬式野球部から感謝を込めて》

今回は、硬式野球部が“応援していただいている院友の皆さまへの感謝”ということで、「ＯＢプロ野球選手サイン色紙・ボール」「東都大学野球令和3年度春季・秋季リーグ戦連覇記念ボール」「硬式野球部創部100周年記念Ｔシャツ」「明治神宮外苑創建95年記念、第92回明治神宮野球大会出場記念キーホルダー」を提供してくれました。抽選で10名の皆さまにプレゼントいたします。ぜひご応募ください。

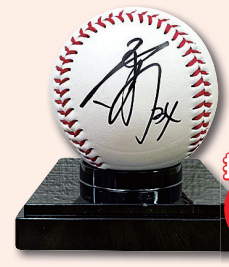
東京ヤクルトスワローズ 清水 昇投手サイン色紙

抽選で1名

横浜DeNAベイスターズ 山下幸輝選手サイン色紙

抽選で1名

東北楽天ゴールデンイーグルス 山崎剛選手サインボール



抽選で1名

東都大学野球 令和3年度春季・秋季リーグ戦 連覇記念ボール

抽選で1名

硬式野球部 創部100周年記念Ｔシャツ

抽選で1名

明治神宮野球大会 出場記念キーホルダー

抽選で5名

《祝！新院友・第130期生(令和4年3月修了・卒業)限定!》 國學院大學オリジナルクッキー

卒業記念！　今号特別企画の130期生限定プレゼントです。クッキーにこくぴょんなどがデザインされた、コロンバン製の本格的クッキーです。この人気の國學院クッキーを、抽選で10名の方にプレゼントいたします。130期生の皆さん、ぜひご応募ください。

抽選で10名

★あ て 先　〒150-0011 東京都渋谷区東４―12―８ 國學院大學院友会 院友会報プレゼント係
★応募方法　ハガキ・ファックス・E-mailに〒・住所・氏名・電話番号・卒業期・卒業学科・会員番号(10桁)・130期生の方は学籍番号・希望の賞品(「清水投手色紙」「山下選手色紙」「山崎選手ボール」「記念ボール」「Ｔシャツ」「キーホルダー」「國學院クッキー：130期生限定」のいずれか)を記入の上、お申し込みください。※おひとりで複通数、複数賞品の応募はできません。
★締め切り　令和４年４月30日（土）
★当選発表　当選の発表は、賞品の発送を持って代えさせていただきます。発送は５月上旬以降となります。お楽しみに！

※お申し込みいただきました個人情報は本会で適切に管理し、商品の発送および院友会報、会費・寄付金依頼状の送付とそれらに関する諸連絡のために使用させていただきます。詳しくは本会ホームページ個人情報の取り扱いについての利用目的をご覧ください。

ホームカミングデー『電波(ONLINE)でツナガレ院友の憶(OMO)い』

～今年度もオンラインで開催～

毎年秋頃に開催されていたホームカミングデーは、今年度もオンラインでの開催となった。

春先から、大学内の実施準備委員会で検討が始まっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言や、その解除後の状況も勘案しながら、そして何よりも大学と院友の繋がりを大切に考える準備委員会メンバーの熱い想いがオンラインでの開催となった。ホームカミングデーは３日間開催され、次のとおりオンラインならではの楽しい企画が当日限定で配信された。

【ＤＡＹ１】令和３年11月27日(土)

★笑撃！スポーツ巡り　13時00分～14時00分
若手職員がたまプラ部活動に体験入部！　硬式野球・女子バスケ・柔道を生配信。

★研究室探訪　16時00分～16時40分
人間開発学部卒業生必見！　たまプラのとある研究室を覗き見！　クイズに参加して豪華賞品をGet!?

【ＤＡＹ２】令和４年１月22日(土)

★プラプラザ　10時30分～11時45分
リアルタイムでたまプラーザ周辺を散策。「駅、街並み、キャンパス」変わった姿をお届け。「えー！」そんな声が聞こえてきそうな、ぶらり旅！

★プラシブヤ　15時00分～16時10分
渋谷キャンパス周辺を生配信で巡る。今のシブヤへ、校舎の周りへ、貴方がプラプラしたアノ場所へ。変わった姿、変わらぬ姿探します！

【ＤＡＹ３】令和４年３月12日(土)

★学長による源氏物語〈物語絵〉解説！　15時00分～16時00分
針本正行学長による特別企画！　本学図書館所蔵の『源氏物語』を、研究者である学長が生解説。

★突撃！ナイトミュージアム　19時00分～20時00分
近年、年間７万人を超える来館者を誇る國學院大學博物館の初企画。生配信で夜の博物館へご案内。

皆さまへのお願い

今年度のホームカミングデーは終了いたしましたが、フェイスブックやインスタグラムでは継続して情報が発信されます。

下記QRコードよりフォローをお願いいたします。院友会報や学報では発信できない情報もあるはずです。多くの皆さまのフォローをお待ちしております。

インスタグラム　フェイスブック

それぞれ趣向を凝らした企画であったが、多くの院友にご参加いただいたのではないだろうか。既に、大学内では令和４年度の開催に向けて検討が始まっている。来場型の開催を前提として、大学と院友の繋がりがより強固なものとなるように、そして一日も早く平穏な社会が戻ることを願いながら。

令和４年度 院友大会について

恒例となっていた院友大会は、支部長会議と同様２年開催を見送ってきましたが、令和４年度は秋以降の開催に向けて準備を進めます。

今後、院友大会の開催に関連するお知らせは、会報次号と本会のホームページ上で告知する予定です。

会費・寄付金の振込に関して

院友の皆さまには、いつも会費・寄付金のご納入をいただきまして有り難うございます。

令和４年１月から、ゆうちょ銀行では、窓口・ATMで現金で院友会の会費・寄付金を送金いただく場合、別途現金加算料金が発生いたします。お手数をお掛けいたしますが宜しくお願いいたします。

※「ゆうちょ銀行口座」をお持ちの方は、口座からご送金いただくと、現金加算料金のご負担はございません。その場合は、必ずお名前・10桁の個人番号・連絡先の電話番号をご入力してください。

國學院ふぉめえしょん

▼コロナ禍二年目、対面と遠隔で授業

令和三年度の授業は、相次ぐ緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の中、新型コロナウイルスの感染予防策を講じた上で、おおむね50人未満の授業はすべて対面とするなど、通学を前提として運営された。50人以上の授業はハイブリッド（対面と遠隔の同時併用）としつつ、感染予防の観点から教室を配当できない授業は遠隔で実施した。

昨夏には、渋谷キャンパスで新型コロナウイルスワクチンの職域接種、たまプラーザキャンパスで地域と協力した接種を実施。希望する学生、教職員らに対し、ワクチン接種を積極的に進めた。例年11月に行われる若木祭は、対面とオンラインを組み合わせて開催。渋谷キャンパスには二年ぶりに、学生たちの演奏するビッグバンドジャズや、全學應援團のエールが響き渡った。

▼院友会協賛の高校生コンテストが節目

國學院大學院友会、國學院大學若木育成会などが協賛し、本学と高校生新聞社の主催で実施している「全国高校生創作コンテスト」は、25回の節目を迎えた。今年度、短篇小説・現代詩、短歌、俳句の４部門に全国から１８２７７作品の応募があり、文部科学大臣賞に海城高校（東京都）が選ばれたほか、各賞受賞者が決まった。

同じく高校生を対象に実施された第17回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストと合わせて、入賞作品集をそれぞれ２月下旬に刊行した。ご希望の方は、希望部数と送付先を広報課（✉ kouho@kokugakuin.ac.jp）まで。

▼國學院大學学報を定期購読しませんか？

「國學院大學学報」は、母校のニュースや学生・院友（卒業生）・教職員の活躍をお届けする機関紙（年11回発行、８月は休刊）です。特集では、本学の多彩な顔をご紹介。本学の歴史を辿る「学問の道」など各種連載コラムも注目です。スポーツ部会をはじめ特色ある取り組みを続ける学生たちの情報、卒業生も参加できるイベントや講座のご案内なども充実しています。定期購読をご希望の方は、本学ＨＰ（ＱＲコード）からお申し込みください（年間購読料：五百円〈税込み・送料含む、払込手数料別途〉）。

広報課・記

▼令和四年度の國學院大學公開講座について

令和三年度の國學院大學オープンカレッジは、新型コロナウイルスの感染拡大に対する安全確保の観点から「対面」による講座は開講せず、全講座Ｚｏｏｍによる「オンライン」にて開講いたしました。令和四年度につきましても、実技を伴う書道関連講座の開講を見送り、一部の講座をオンラインで開講いたしますが、状況を考慮しながら対面講座を再開いたします。対面講座の実施にあたっては、三密を避ける観点から、平成三十一年に竣功した渋谷キャンパス「総合学修館（六号館）」の教室を中心に展開する予定です。ご興味ございましたら、下記のＱＲコードまたはエクステンション事業課宛にご連絡いただき、パンフレットをご請求ください。

この他、前年度に引き続き、「オンライン公開講座」をＺｏｏｍにて開講いたします。年間を通して、複数の講座をＺｏｏｍで開講する予定となっており、四月になりましたら、現代日本人「生と死」を考えるための鍵となるような人物を選び、彼らの生き様や死生観を考えることをテーマとした「私たちの生き様―死ぬことと生きること―」の受付を開始いたします（申込締切日：令和四年五月九日（月））。

引き続き予断を許さない状況にございますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

エクステンション事業課・記

【ＨＰ・お問合せ先】
https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p1　☎03―5466―0270
MAIL：jigyou@kokugakuin.ac.jp

オープンカレッジ パンフレットのご請求はこちらから